

香川県教育委員会 6 月定例会会議録

1. 開催日時 令和 6 年 6 月 4 日 (火)
開 会 午前 9 時 3 0 分
閉 会 午前 1 1 時 1 分

2. 開催場所 教育委員室

3. 教育委員会出席者の氏名

教 育 長	淀 谷 圭 三 郎
委 員	藤 澤 茜
委 員	木 下 敬 三
委 員	蓮 井 明 博
委 員	鳥 取 美 穂

4. 教育長及び委員以外の出席者

副教育長(兼)新県立体育館整備推進総室長	海 津 洋
教育次長(兼)政策調整監	塩 田 広 宣
教育次長	吉 田 智
総務課長	近 藤 高 弘
義務教育課長	荻 原 絢 嗣
高校教育課長	長 林 真 司
保健体育課長	渡 邊 浩 司
生涯学習・文化財課長	佐々木 隆 司
政策主幹(兼)総務課副課長	宮 西 正 博
義務教育課長補佐(兼)主任管理主事	東 条 直 樹
高校教育課長補佐(兼)主任指導主事	佐 伯 卓 哉
高校教育課長補佐(兼)主任指導主事	橘 正 隆
保健体育課長補佐(兼)主任体育主事	荒 井 憲 司
新県立体育館整備推進課長	景 政 孝 輔
新県立体育館整備推進課長補佐	矢 野 賢 吾
高校教育課主任指導主事	水 野 伸 吾
高校教育課主任指導主事	井 川 靖 夫
義務教育課主任	宮 本 将 弘

傍聴人 1 名

5. 会議録の承認

4月23日に開催した定例会の会議録署名委員の木下委員から、同定例会の会議録について適正に記載されている旨報告。

各委員に諮り、これを承認した。

6. 非公開案件の決定

教育長から、本日の議題のうち、議案第1号は、教育委員会において会議を公開しないことと定めているもののうち、「県の機関の内部における審議、検討又は協議に関する情報であって、公にすることにより、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあること」に該当するため、議案第3号、第4号は、教育委員会において会議を公開しないことと定めているもののうち、「個人に関する情報であって、公にすることにより、なお、個人の権利利益を害するおそれがあるもの」及び「県の機関が行う事務に関する情報であって、公にすることにより人事管理に係る事務に関し、公正かつ円滑な人事の確保に支障を及ぼすおそれがあること」に該当するため、非公開としたい旨を発議。

各委員に諮り、非公開とすることに決した。

7. 議案

○議案第1号 令和6年6月香川県議会定例会に提案予定の教育委員会関係議案に対する意見について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第2号 令和7年度香川県公立高等学校入学者選抜要綱について

高校教育課長から、令和7年度香川県公立高等学校入学者選抜要綱について諮る旨、説明。

【質疑】

＜藤澤委員＞保護者から、全国からの生徒募集ではどの高校でも受けることができるが、県内の生徒は学区の制約で受けることができない制度になっているのは、いかがなものかとの意見をよく聞く。学区の考え方は、今も残っているのか。

＜高校教育課長＞小豆島中央高校を除く普通科・理数科については学区があり、第1学区の生徒は第2学区を、第2学区の生徒は第1学区を受検できないが、自己推薦選抜においては入学定員の5%を上限とした他学区枠を設定しており、他学区への出願を可能としている。昨年度の自己推薦選抜では、第2学区から第1学区へは10名、第1学区から第2学区へは3名、合計13名が学区を越えて出願した。

＜木下委員＞善通寺第一高校の普通科で新たに自己推薦選抜を取り入れた理由は何か。

＜高校教育課長＞学校の魅力化、特色化、生徒の確保がどこの高校にとっても大事な時期になっている。各高校とも求める生徒像を持っており、地元や地元以外の中学生に各高校のアピールをしている。自己推薦選抜であれば、善通寺第一高校に入りたいと思っている生徒を集められるとの思いから、この特色ある自己推薦選抜に参加した。

＜木下委員＞理解した。

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第 3 号 教職員の懲戒処分について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第 4 号 教職員の懲戒処分について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

8. その他事項

○その他事項 1 令和 6 年度スーパーアスリート育成事業について

保健体育課長から、令和 6 年度スーパーアスリート育成事業について説明。

【質疑・意見交換】

＜蓮井委員＞スーパー讃岐っ子が 4 名とあるが、例年と比較して順調に育成が進んでいるのか。

＜保健体育課長＞今回指定した 4 名は例年より多い。吉田選手もスーパー讃岐っ子から指定された。小学生段階から、自分の得意な競技だけでなく、スポーツについて座学等、色々学びながら能力を高めていき、最終的に競技に活かして成果が出ていると考える。